

-労働と教育の場「雑草」・ごはん☆あらぐさ・クローバーハウス・生活支援センター・法人・後援会だより-

あらぐさニュース

2023.10

Vol.91

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)

☆きょうされん全国大会 IN 埼玉☆



8月30、31日に「第46回きょうされん全国大会in埼玉」が開催されました！年に一度のビッグイベントであり、しかも今年は14年ぶりの埼玉大会とあって、1年前からSNSでのカウントダウン企画に参加するなど、時間をかけて準備を進めてきました。あらぐさでも、全国のなかまのみなさんを迎える立場として、例年の何倍も気合を入れて当日を迎えました。

会場の大宮ソニックシティでは、荒馬座の和太鼓や地元埼玉で活躍されているバンド、ダンスチームのパフォーマンスを鑑賞し、出演者の見事なパフォーマンスやなかまのみなさんの生き生きとした姿、そして会場の一体感に感動すら覚えました。みなさんの心のなかにも、「一人じゃないんだよ」というメッセージが届いたことと想います。

大盛況のうちに幕を閉じた埼玉大会は、来年の滋賀大会にバトンを繋ぎました！

ご家族の皆様をはじめ、たくさんの方々のご協力を得て、大きなトラブルなく無事に終わられたことに感謝いたします。

(樋川)

～クローズアップ～

今回は昨年10月より新たにあらぐさの仲間に加わったこの方を紹介します！

【あらぐさのアイドル 日下光伸さん】

☆あらぐさでは…

リサイクルAの内職班に所属しています。主にブリジストンのシール貼りをやっています。とても丁寧な仕上がりがりなので安心して作業を任せられます。野球が大好きで夏になると甲子園の話で大盛り上がり！ホームではプロ野球をよく見ているそうです。仲間交流会のWA会での活動をしていて、きょうされん全国大会2023では大宮ソニックシティの大ホールでさくまひできさんと「いのちかがやけ」を歌って踊りました。頼りされることがずきな日下さんはWA会の他にも、あらぐさで恒例になっている日下さん考案のマルバツ問題「日下クイズ」をやってくれます。幅広い出題範囲でみんなが楽しめるクイズになっています。最近頑張っていることは階段昇降の取り組みです。いつまでも元気で笑顔が素敵な日下さんでいてくださいね。(川村)



第3クローバーハウス通信

第3クローバーハウスは上尾市上野にあり、女性7名が暮すグループホームです。

利用者7名を紹介します

金曜日に帰宅する仲間1名、土曜日に6名が帰宅しますが、日曜日に2名が泊を利用しています。あらぐさからホームに帰る時間は16:30分頃に徒歩の仲間3名、その後送迎バスで4名が帰ってきます。すぐに入浴の準備や洗濯物の取り込みを、自分たちで出来る範囲で取り組んでいます。

入浴を待つ間は、今日の出来事をわれ先にと報告が始まり、夕勤務の職員は食事を作りながら順番に話を聞く毎日とても賑やかです。

ホームの生活で一番楽しみにしている事は夕食の様です。中旬頃になると、「メニュー表はいつ？」と早々に催促があり、カレンダーに月末に帰宅する日に○印を付けて、この日に配布しますねと約束をしています。

9月はSさんの42歳の誕生日会を行いました。ささやかなプレゼントですが、何かなあ〜と幾日も前から期待で胸を膨らませている様子が見られます。

当日は他の仲間達からあたたかいお祝いのメッセージカードと、ハッピーバースデー♪の歌を送られとても和やかな夜を過ごしました





2023 一泊旅行!



In 千葉
男性



旅は楽しい
だけじゃないなあ...

風が気持ちイイ~🌟



久しぶりのカラオケ♪
真剣に選曲中...



お土産たくさん買いました

In 静岡

女性



遊覧船サイコー！



豪華なご飯！！



水族館で
魚と一緒にピース👌



お土産買ってみたい
😊

【後援会のページ】

「埼玉暮らしの場を考える会」に出席（9月13日）

① 全国障害児者の暮らしの場を考える会 厚労省交渉

出席した家族から「幾つ作っても自分の子が入れない。自立させるには年齢が早ければ早いほどいい。40歳を過ぎてしまうと、新しい生活を始めるのに本人も受け入れる施設も大変。（なかなか馴染めない）年齢が経ってしまうと受け入れてくれる施設がなくなってくる。」

入所施設待機者…全国 18,000人 埼玉県 1,520人 国は把握していない
とくに重度の人の施設が足りない。GHも民間企業がどんどん作ってはいるが、軽度の人を対象。重度の人のためのGHも必要。

合わせて、安心して暮らすことができる生活の実現を求める。

② 岸田政権 「戦争できる国」から「戦争する国」へ突き進む

5年間で43兆円大軍拡推進

埼玉県にも基地がある（入間基地）出動の拠点で予算も沢山ついている。

障害者、シングルマザー、非正規・派遣雇用者の生活に苦しむ人が多いなか、なぜ軍拡なのか？ 二度と戦争が起きぬ様声を上げていきましょう。

「きょうされん全国大会 in 埼玉」に出席（8月30, 31日）

参加者約3200人 そのうち障害者約1300人

■ 1日目 全体会（大宮ソニックシティ大ホール）

始まる前にステージの大きなスライドに、「全国大会まであと〇日」という札をもって、県内のきょうされん加盟事業所の写真が順番に映し出されました。

あらぐさは映像が始まってすぐ、365～360日（4～5人ずつ）と106、105日が出ました。とても良く映っていました。

特別企画では、全国の障害のある仲間たちからのメッセージが流れ、シンポジウムでは、埼玉ゆかりの団体リーダーが日本の障害施策の実態と課題を発信しました。

特別講演では、国連の伊東亜紀子さんが、障害者権利条約の意義や、障害のある人の人権を好転させるための展望についてお話してくださいました。

「私たち抜きに私たちのことを決めないで」と権利条約は求めています。まだまだ行政主導の実態があります。権利はすべての人に共通です。一人一人の尊厳が守られ、誰も置き去りにしない社会を目指して皆で訴えていくことが大事だと感じました。

■2日目 分科会 (浦和コミュニティセンター)

テーマ「今だから大切にしてほしいこと」

京都の福祉会理事長より、共同作業所づくり運動についてのお話がありました。

職員2人、なかま12人から始まった作業所が、現在は職員120人、なかま130人程いらっしやるそうです。みんなの願いを真ん中に置き、行政にも積極的に働きかけ、世論も味方につけ、きょうされんと共に広がっていったそうです。昔は養護学校卒業生の行き場が無く、どんどん作らなければならなかったが、今は一定の場が整備され、「無いなら作ろう」から「選べる、選んでもらう」事業に変化してきています。

では、今、私たちができることは・・・

◎現状を知り、その背景を探る

◎現状を変えるためにどうしたらいいか考え行動する→主体的にならないとやりがいは得られない

◎目指すもの、あるべき姿を学ぶ(憲法、障害者権利条約、国際基準など)

◎人とつながること「共有」「共感」「共同」

◎「人がいない」→「運動に参加できない」→「内にこもる」の悪循環を断ち切る

2日間にわたって参加させていただき、全国に同じ思いを持つ方々がたくさんいることを実感し、心強く思いました。視野を広げて他者を理解し寄り添うこと、気になることは抱え込まずみんなで考え行動することの大切さを学びました。

あげお産業祭に模擬店出店いたします

11月11日(土)、12日(日)

上尾市民体育館隣の「ゆりが丘公園」にテントがあります。

焼きそば、チヂミを売ります。是非さがして買いにいらしてください。

お待ちしております!!

2023年度 賛助会員 (2023年7月～9月)

会費納入ありがとうございました

依田美枝 伊藤泰子 相原恵子 菅原寿美子 大塚精子 武居邦子 山口葉子

平山由子 小川ふみ江 荒川伊津美 (敬称略、順不同)

誰もが尊重される社会めざして

酷暑が過ぎさわやかな日が続くようになりました。皆様いかがおすごしですか？

世界中でSDGsが叫ばれながらも、依然と変わらない生活が営まれているようにみえます。対極にある戦争も終わることなく起きています。無力感におそわれますが、日々は続きます。自分にできることをしていくしかありません。

「雑草」では大きな行事2つが終わりました。1つは、8月末「きょうされん」の全国大会です。大宮ソニックに全国から約2800人も参加があり大変な賑わいでした。企画作りは1年前から始まっていました。そのうちの企画「勾玉などの物作りと『さくまひでき』コンサート」に雑草の若手職員3名が加わり、会議を重ね試行錯誤して作り上げました。当日は大変な混雑とハプニングの連発でしたが、充実した楽しい1日だったようです。他の事業所の職員との結びつきも強まり、今後につなげられるよう「雑草」も加わってきたいと思います。

もう1つは、1泊旅行です。昨年と同様男女に分かれて別な場所に行きました。病気で複数の職員が休みとなりましたが、組換えなどして何とか予定通りに行いました。職員は頑張り、仲間たちも集団行動を守り、無事終わりました。みなさん楽しめたようで、何より良かったです。

さて、皆さん優生保護法をご存じですか？あまりなじみがないのか、優生保護法の裁判を起こしていることも広く知られていません。

優生保護法の第1条は「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止するとともに、母性の生命健康を保護することを目的とする」となっています。目的は2つ、1つは「病気や障害をもつ子どもが生まれてこないようにする」。もう1つは「女性の、妊娠・出産する機能を保護する」。これが多くの障害者たちに不妊手術や中絶手術を強いる根拠となり、2万人を超える人が手術を受け（させられ）ました。

優生保護法は1996年に廃止され、母体保護法として改正されました。なぜ改正したのか？「他の法律や制度との整合性がとれなくなった」だけでなく、担当者は「優生保護法はすでに実害がなく、いわば“死文化”していたが、『らい予防法』の廃止でクローズアップされるのを避けるため見直しに動いた」と言っているようです。「すでに実害がない」というのは、過去に実害があったということです。だったら、しっかり謝ってきちんとした賠償をするのが筋です。

長い道のりでしたが2018年に38人の被害者が、国に対して謝罪と補償・差別の是正を求め裁判を起こしました。勝訴もありましたが、20年すぎると損害賠償の請求権はないとの理由で敗訴もしました。原告はもちろんですが、謝るべき国も上告しています。今度は最高裁です。既に5人の方が亡くなっています。待ったなしです。

みなさんは、自分の中の優性思想について考えたことはあるでしょうか？古くからある「五体満足」「容姿端麗」「いい学校」「いい会社」に縛られる価値観。私にもあります。これが優生保護法をはびこらせた理由の一つかもしれないと思うと、自分自身もこのままではいけないと思っています。そのためには、まず事実を知り行動することからスタートでしょうか。障害があっても無い人と変わりなく生きていける社会であれば、つらく苦しい思いをせず受け止められ、1人の人間として生きていける。多種多様で懐の深い豊かな社会になる。これを信じて進んでいきたいと思います。

きょうされんでは、最高裁の前に「正義・公平な裁判を求めて」署名を集めています。オンライン署名もあります。ぜひご協力お願いします。（荒川）



◆かわらず美味しい雑草のバタークッキーを お歳暮にぜひどうぞ！



詰め合わせ例



220円6個入り 1,450円(箱代含)



220円10個入り 2,300円(箱代含)



330円10個入り 3,450円(箱代含)

おいしくな～あれ！気持ちを込めて作っています。

一味違う雑草のクッキーは、とてもご好評を

いています！郵送も承ります。

ご注文お待ちしております！

※2023/04/01 から価格改定により値上げ
させていただきます。

Tel 048-726-5720

Fax 048-726-7177

Mail aragusa@lime.ocn.ne.jp

編集後記

ようやく秋めいてきて、過ごしやすい季節となりました。仲間が楽しみにしていた一泊旅行やきょうされん全国大会といった大きなイベントを終え一段落です。

秋は地域や学校でのイベントが多く催され、あらぐさもたくさん販売に伺います！その際は是非お菓子、パンのご購入をお願い致します。

(村越)